

(株)ノエビアは東京農業大学生物産業学部と包括連携協定を締結

2013年11月22日(金)東京農業大学にて、調印式開催

(株)ノエビアは、北海道オホーツク地域における多様な生物資源を活用し、地域の食品・化粧品産業の活性化を図ることを目的に、東京農業大学生物産業学部と包括連携協定を締結することになりました。この活動の拠点として、ノエビアの北見オホーツク北方植物研究所に「オホーツク地域連携研究センター」を開設いたします。

【調印式】

日時 2013年11月22日(金) 10:00

場所 東京農業大学生物産業学部 第一会議室 (北海道網走市八坂196)

【連携の経緯】

ノエビアは、「自然を科学する」という企業ポリシーのもと、化粧品や食品の良質な素材にこだわり、植物の新規有効成分の開発に取り組んでいます。また、東京農業大学生物産業学部は、「生産-加工-流通」という、一貫した総合農学の教育を推進しています。両者は、2006年からオホーツクの生物資源に関する共同研究を開始し、2010年、東京農業大学生物産業学部にて、日本で初めて食品と化粧品の教育と研究を行う「食品香料学科」の設立により、両者との交流がさらに深まりました。この度、オホーツクの資源を活用し、「ものづくりによる地域活性化や人材育成に広げて共同で社会に貢献したい」という考えが一致し、包括的連携協定の締結に至りました。

【連携のポイント】

2013年12月に開設する「オホーツク地域連携研究センター」を拠点に、オホーツクの多様な生物資源を活用した食品や化粧品の企画から商品化までの研究・生産を通じ、次のような活動を行います。

- 1) 地域文化・産業振興を目的としたイベント開催
- 2) オホーツク地域の生物資源に関する研究とものづくり
- 3) 食品や化粧品業界で活躍する若手研究員の育成

【オホーツク地域連携研究センター】

ノエビアは、2006年に「北見オホーツク北方植物研究所」を設置し、北方植物に関する研究を行っています。

オホーツク地域連携研究センターでの活動は、ノエビアと東京農業大学生物産業学部の他、北見工業大学社会連携推進センター、市民団体「オホーツクの活性を推進する会」の協力を得て行います。産学民の連携により、オホーツクの資源を生かした研究、ものづくりにより、オホーツク地域の活性化と産業振興を目指します。



オホーツク地域連携研究センター
(北見オホーツク北方植物研究所)
北海道北見市大通西 3-15

http://www.noevir.co.jp/office/lb_kitami.htm

<このリリースに関するお問い合わせ>

株式会社ノエビア 東京都中央区銀座 7-6-15 広報・宣伝部 後藤・森山
TEL 03-5568-0349 FAX 03-5568-0441